



表4 なし「幸水」安全限界温度

発育ステージ	発芽期	花蕾露出期	花弁露出始期	花弁白色期	開花直前	開花始期	満開期	落花期	幼果期
花芽の状態									
安全限界温度 (°C)	-3.6	-2.9	-2.5	-1.8		—	-1.3	—	-1.3
危険度50%温度 (°C)	-5.9	-4.5	-2.5		-2.1		—	—	-1.2
予測日	3月30日	4月3日	4月8日	4月14日	4月15日	4月17日	4月23日	5月2日	5月8日
実測日	未	未	未	未	未	未	未	未	未

表5 りんご「ふじ」安全限界温度

発育ステージ	発芽期	展葉初期	花蕾露出期	花蕾着色期	開花直前	開花始期	満開期	落花期	幼果期
花芽の状態									
安全限界温度 (°C)	—	-2.1	—	-2.0	—	-1.5	—	-1.7	—
危険度50%温度 (°C)	-3.7	-2.2		—	-2.5		—	-1.9	—
予測日	3月25日	4月2日	4月8日	4月17日	4月22日	4月23日	4月29日	5月5日	5月11日
実測日	未	未	未	未	未	未	未	未	未

- 本表は、果樹の発育ステージの予測日と防霜対策の目安となる凍霜害警戒温度指標を示しています。
- 予測日は、直前の気温により2～3日の誤差を生じる場合があります。なお、実測日は該当する発育ステージに到達した日を示しています。
- 果樹研究所(福島市飯坂町)における予測日ですので、各園地の生育差を考慮して利用して下さい。
- 安全限界温度は、当該温度に1時間遭遇した場合、被害がわずかでも発生するおそれがある温度、危険度50%温度は、当該温度に1時間遭遇した場合、経済的被害(3割以上の花芽・花器・幼果に障害)が50%の確率で発生するおそれがある温度を示しています。

表6 おうとう「佐藤錦」安全限界温度







発育ステージ	発芽期	花蕾露出期	花蕾露出期	開花直前	開花始期	満開期	開花終期	幼果期
花芽の状態								
安全限界温度 (°C)	-3.0	-1.6	-1.5	-1.7	-1.7	-1.7	-1.1	—

表7 かき「平核無」安全限界温度

発育ステージ	発芽期～展葉期	新梢伸長期
花芽の状態		
安全限界温度 (°C)	-4.0	-2.8

#### 4 病害虫防除上の留意点

開花前の防除は時期が遅れないように注意し、温暖無風の日を選んで確実に実施しましょう。

##### (1)りんご

防除暦に従い、薬剤防除を行いましょ。また、腐らん病の伝染源となる枝腐らん、胴腐らんの発病部位は確実に削り取るかせん除し、塗布剤を塗りましょ。なお、伐採した被害枝幹や削り取った病患部は園内に放置せず適切に処分してください。

##### (2)もも

コスカシバの発生が多い園では、防除暦に従って薬剤を樹幹部および主枝に手散布ましょ。

モモせん孔細菌病については、開花直前期は防除暦に従い、薬剤を散布して春型枝病斑からの感染防止を図りましょ。

なお、開花後の散布は葉に薬害を生じますので、防除時期を逸することのないように十分注意ましょ。また、春型枝病斑は発芽10日後頃から発生する場合があるため、園内をよく観察して春型枝病斑のせん除を徹底ましょ。薬剤散布後は薬斑によって病斑を発見することが困難となる場合がありますが、新梢葉の生育不良(図1)を目安に発病が疑わしい枝は見つけ次第せん除して下さい。



図1 モモせん孔細菌病の見分け方

##### (3)なし

黒星病は前年の被害落葉や罹病芽(りん片)が伝染源になり、開花前から胞子を飛散するため、初期感染の防止に努めましょ。防除暦に従い、花芽のりん片が緩み、落ち始めた頃を目安に薬剤を散布し、開花直前の散布と散布間隔があきすぎないように注意してください。